

平成24年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,962	4,809	△ 153	(注1)
施設整備費補助金	254	241	△ 13	(注2)
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	7	74	67	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	26	34	8	(注4)
自己収入	2,335	2,309	△ 26	
授業料、入学金及び検定料収入	2,268	2,234	△ 34	(注5)
雑収入	67	75	8	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	772	575	△ 197	(注7)
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	16	3	△ 13	(注8)
計	8,371	8,045	△ 326	
支出				
業務費	7,312	6,577	△ 735	(注9)
教育研究経費	7,312	6,577	△ 735	
施設整備費	280	275	△ 5	(注10)
補助金等	7	76	69	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	772	636	△ 136	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
計	8,371	7,565	△ 806	
収入-支出	0	480	480	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については一般運営費運営費交付金交付額が当初予定していたよりも少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が153百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった施設整備費補助金20百万円が交付された一方、当初予定していた施設整備費補助金について34百万円の減額変更を申請したことに伴い、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については予算段階では予定していなかった研究開発施設共用等促進費補助金などが交付されたことに伴い、予算額に比して決算額が67百万円多額となっています。
- (注4) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については予算段階では予定していなかった交付金が交付されたことに伴い、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として当初の見込みより授業料の前倒収納額が減少したことに伴い、予算額に比して決算額が34百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、学校財産貸付料収入や著作権及び特許権収入が増加したこと等に伴い、予算額に比して決算額が8百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金収入等が当初の予定より7百万円増加した一方、産学連携等収入が当初の予定より199百万円減少したこと及び科研費間接経費を5百万円翌年度に繰り越したことに伴い、予算額に比して決算額が197百万円少額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については小規模改修等緊急対策経費が当初の予定より少なかったことに伴い、予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。
- (注9) 業務費については、学内プロジェクトによる事業の繰延べや、業務実施にあたり経費の節減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が735百万円少額となっています。
- (注10) (注2)及び(注4)に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が69百万円多額となっています。
- (注12) (注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が136百万円少額となっています。